

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	基礎医学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	基礎医学実習室
担 当 教 員	加藤 智久、高田 秀志	実務経験と その関連資格	加藤 智久 病院勤務9年			
《授業科目における学習内容》						
人の構造および機能、病理学概論について構造的、機能的、形態的に理解を深めることを目標として実習を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
各分野のレポートで評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布プリント						
《授業外における学習方法》						
実習におけるレポート作成						
《履修に当たっての留意点》						
レポート評価が中心となるので締め期日を必ず守ること レポートの再提出、再評価あり						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療人としての手洗いを身につける	配布プリント		手洗いレポート
		各コマにおける授業予定	手洗いについて①			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療人としての手洗いを身につける	配布プリント		手洗いレポート
		各コマにおける授業予定	手洗いについて②			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	危険予知の考え方を理解する	配布プリント		KYTレポート
		各コマにおける授業予定	KYT(危険予知トレーニング)について			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	心肺蘇生ができるようになる	配布プリント		心肺蘇生レポート
		各コマにおける授業予定	心肺蘇生トレーニング(消防署認定普通救命講習取得)①			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	心肺蘇生ができるようになる	配布プリント		心肺蘇生レポート
		各コマにおける授業予定	心肺蘇生トレーニング(消防署認定普通救命講習取得)②			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	パルスオキシメータの特性と仕組みを理解できる	配布プリント	パルスオキシメータレポート
		各コマにおける授業予定	パルスオキシメータ測定		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	スパイロメータの特性と仕組みを理解できる	配布プリント	スパイロメータレポート
		各コマにおける授業予定	スパイロメータ測定		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	車椅子の構造と役割が理解できる	配布プリント	車椅子に関するレポート
		各コマにおける授業予定	車椅子の構造と役割		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	車椅子の構造と操作ができるようになる	配布プリント	車椅子に関するレポート
		各コマにおける授業予定	車椅子の構造と役割基本的操作		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	transferについて理解できる	配布プリント	transferに関するレポート
		各コマにおける授業予定	transfer①		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	transferについてできるようになる	配布プリント	transferに関するレポート
		各コマにおける授業予定	transfer②		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	バイタルサインの種類と役割を理解する	配布プリント	バイタルサインについてのレポート
		各コマにおける授業予定	バイタルサインについて		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	脈拍、血圧について理解する	配布プリント	脈拍、血圧についてのレポート
		各コマにおける授業予定	脈拍、血圧測定について①		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	脈拍測定、血圧測定ができるようになる	配布プリント	脈拍、血圧についてのレポート
		各コマにおける授業予定	脈拍、血圧測定について②		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	脈拍測定、血圧測定ができるようになる	配布プリント	脈拍、血圧についてのレポート
		各コマにおける授業予定	脈拍、血圧測定について③		